

タゴシッド TDM キットー IBL

血中妨害物質の影響に関する検討

抱合型ビリルビン

(1) 試験方法

① 試薬

- I. テイコプラニン標準血清
- II. テイコプラニンコントロール血清
- III. 抱合型ビリルビン ウシ (シグマ社)

② 測定機器アボット社 TD_x アナライザー

③ 試料調製

4段階濃度の抱合型ビリルビンと対照としての血清を3濃度のテイコプラニンコントロール血清に添加し結果欄に示した抱合型ビリルビンを終濃度として含む試料を調製した

④ 各試料を TD_x アナライザーで3回測定し、その平均値を対象試料の測定値と比較した

(2) 試験結果

抱合型ビリルビン 濃度 (mg/dL)	レベル I		レベル II		レベル III	
	測定平均値	%誤差	測定平均値	%誤差	測定平均値	%誤差
0	7.39		32.38		69.82	
10	7.14	-3.38	30.81	-4.85	66.79	-4.43
20	6.82	-7.71	32.34	-0.12	66.87	-4.23
25	6.98	-5.55	32.66	0.86	67.69	-3.05
30	7.12	-3.65	32.79	1.27	67.78	-2.92

(3) 結論

抱合型ビリルビンは 30mg/dL までは測定値に影響はみられなかった。